

市政を問う！

一 般 質 問

当面する諸課題について

立志会 小林昭弼 議員



問 公園における安全管理について、トイレの防犯対策は。

答 5公園に6台の防犯カメラ設置。番割公園1台、新池公園1台、新地公園2台、桐山公園1台、池下公園1台。トイレの防犯は建屋の横に赤色灯が付いている。トイレ内で気分が悪くなったり、危険を感じた時は、ボタンを押して外へ危険な状態であることを通知できるようにしている。

問 トイレ改修整備工事は。48か所のトイレがあり、ユニバーサルデザイン対応は38か所。残り10か所が未対応。財政上厳しい上に、国費補助対策がなく、ここ何年かは改修工事を行っていない。この先も具体的な計画はない。

問 空家が引き起こす問題について、安全面においては、建物の倒壊や、屋根の落下が発生す



ると、近隣住民等に危険な問題を引き起こす。更に、密集市街地や交通量の多い道路、通学路に面していれば大変危険である。防犯上の問題では不審者の不法侵入により、放火や犯罪の起きる可能性があり、地域住民の日常生活に支障をきたす。現在、特定空家等に該当する物件数は、平成31年3月31日現在、空家対象218物件。協議会に特定空家等認定を1件提案している。

当面する諸課題について

立志会 永田起也 議員



12月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。掲載文に関する文責は各議員にあり、内容に関するご意見やお問い合わせは議会事務局までご連絡ください。なお、質問の全文は、会議録や議会映像ネット配信で閲覧することができます。



問 知立市図書館と併設している歴史民俗資料館について、この果たすべき役割とは。また開館以来30年以上経過しているが、今後の方向性は。

答 郷土の公庫、歴史民俗等に関する資料の保存と活用を図って地方文化の発展に寄与する役割を担っている。企画展の開催等での集客を増やす取組みや利便性向上のためトイレのリニューアル工事を実施。しかし建物



の他、展示物も老朽化している。議論する時期にきている。

問 来館促進のため、知立市図書館は2階の特別閲覧室を自習室として開放している。土日または学校の長期休業期間などは不足気味。対応は。

答 平常時は一室開放して20名程度の利用だが、テスト期間中や学校の長期休業日等は他の部屋も開放するがそれでも不足する。中央公民館など空き部屋を活用し、開放したいと考えるが、どれだけニーズがあるか研究する。

問 市内には全天候型施設で老若男女問わず市民が気軽に集えるフリースペースが少ない。施設の複合化も視野に将来的な設置の考えは。

答 現状の公共施設では難しいが、市民の憩いの場として大事な観点であるので研究したい。

市道の維持管理について

民友クラブ 稲垣達雄 議員



問 日本の道路総延長は、約122万km。その約84%の102万kmが市町村道。知立市の市道整備状況は。

答 実延長255km。1千70路線。舗装率は91・5%。

問 私たちが一般に道路と呼ぶ市長が認定した市道の役割は。

答 「交通機能」「市街地形成機

能」「空間機能」の3つの大きな機能を持ち、国道や県道に連結し、地域を結び市民生活や産業を支えている。

問 路面舗装や区画線引き、側溝修繕、道路反射鏡等、区長や市民から寄せられる要望件数は。

答 平成30年度区長からの要望件数は198件あり、認定件数123件。市民から寄せられた要望は330件。

問 市道の基礎データの把握は。

答 基礎データの把握は困難。

問 今年10月に谷田町と新林町で陥没事故が発生した。原因は。

答 谷田町の陥没は、下水管の埋め戻し時の転圧不足。新林町の陥没は老朽化した排水施設の空洞が原因。

問 一般交通に支障を及ぼさないよう努めることを法律で定めている。当市の維持管理体制は。

答 臨時職員2人で月曜から金曜までの午前と、市職員による維持補修班及び郵便局との協定で、局員の配達時に道路パトロールを実施。

市民に焦点の行政運営について

公明党 杉山千春 議員



問 平成23年3月に刈谷市、知立市、高浜市、東浦町と締結した定住自立圏形成協定の期間は10年で残り2年余となった。これまで構成市の3市1町で連携推進してきた施策の中心は何か。また協定は継続するのか。

答 医療分野では総合病院と診療所との地域医療連携ネットワークが有効的に機能。観光面では観光パンフレット「るるぶきぬうら」を作成。公共交通ではミニバスの野田新町駅乗入れが可能となった。広域での連携は必要。協定は継続していきたい。

問 市内の公共施設の老朽化が進んでいる。昭和45年建設の逢妻浄苑については、市民に必要な施設である。今後、移転や建設の検討はあるのか。

答 建物の耐用年数を60年と見込んでおり、建て替えなど、どうするかを検討する時期と考えている。

問 第6次総合計画策定5年目にあたる施策評価では「スポー

ツに取り組む機会や場所の充実」について利用者数の増加、学校体育施設の有効的な活用が現状が評価されている。今後の方向性として、施設不足の対応などを考えると、高等学校体育館施設の活用等の検討はどうか。

答 近隣市を参考に検討していきたい。



逢妻浄苑 (逢妻町)

ごみ行政の取り組みを 中途半端にしないため

市政会 三宅守人議員



問 粗大ごみの搬入は自己の車両で搬入する。市では、貸し出し車両として、軽トラック2台を用意、半日貸し出し。車両貸し出しの申し込みは、市役所の環境課へ予約する。利用料金は無料。平成31年4月からは使用した分の燃料を給油して返却する方式とした。

問 町内集積所以外の集合住宅の分別案内や分別の指導は現状どのようにしているのか。

答 集合住宅に設置している分別案内の大きな看板は、4月の分別区分変更後のものに取り換えることができている現状で、今回補正予算に取り換え費用を計上した。指導は、その建物の管理会社、減量推進員も定期的に巡回している。

問 災害ごみ処理対応は。

答 知立市では、災害廃棄物処理計画を平成30年3月に策定。仮置場候補地として旧第1不燃物処理場を含む3か所を災害廃棄物処理計画の中で定めている。



問 家庭から出るごみは可燃ごみ、資源ごみ、不燃物、粗大ごみに分けられる。ごみ集積所に持ち込むことができるごみは資源ごみ、不燃物、プラスチック製容器包装ごみ。家電品目のテレビは持ち込むことができない。粗大ごみ運搬車両貸出制度について内容は。

誰一人取り残さない社会の 実現を目指して

日本共産党知立市議員 牛野北斗議員



問 性の多様性の理解促進とLGBTQの人への配慮が必要。昨年の12月議会でも申請書類等の性別欄の削除を提案したが、その後の検討、取り組み状況は。

答 現在、精査中。不都合がないものは、来年度から削除する。

問 子どもへの配慮も重要。中学校制服にスラックスの導入を。

答 生徒に寄り添い、検討することとは重要。同性カッパルは様々な面で制約がある。西尾市が今年9月に同性パートナー（共同生活をする者）として認める「パートナーシップ宣誓制度」を導入。市長の導入に向けた考えは。

答 人権尊重として検討したい。

問 障がい者世帯から上下水道料金の福祉減免制度創設を求め声がある。検討すべきでは。

答 その考えはない。

問 国は大学入試に民間英語試験を導入する方針。受験料が高く低所得家庭の子どもは受験が困難になる恐れがある。市は受

験料補助をすべきでは。

答 個人の資格取得に補助すべきは慎重に考える必要がある。

問 65歳未満の要介護者も宅配給食サービスの対象にすべき。

答 個別相談のうえ判断する。

問 介護施設の夜勤職員の処遇改善として手当補助制度創設を。今後の研究課題としたい。



※レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの頭文字をとって作られた性的少数(セクシュアルマイノリティ)の人たちの総称のこと。